

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日: 2024年1月16日

事業所名: 放課後等デイサービス ゆめの園みらいず本郷 児童発達支援・放課後等デイサービス

対象人数(保護者)25人 回答者数 20人 回収 80%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	16	4		集団で活動をしている所を実際に見たことがなく、定員に達している状態でスペースが十分に足りているかは定かではない
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	16	4		ごめんなさい。わかりません。人数は問題なく、専門性を強化して頂けたらと思います。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	13	7		
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	19	1		
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	20			社会体験プログラムとか増やして貰えたらいいなと思います。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	12	6	
保護者 への説明 等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18	2		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	18	2		
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	19	1		
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	10	5	個人的には、現時点ではこのような活動は特別に必要なとは思っておりません。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	8		
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14	6		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	16	4		
	⑭	個人情報に十分注意しているか	18	2		
非常 時等 の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	15	4	1	可能であれば年1度程度、再確認の意味合いも含めて再配布していただきたいと思っています。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	15	5		
満足 度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	17	3		少しずつ慣れてきて、みらいずほんごういく!と言う事が増えました!今後もよろしく願います。ごめんなさい。わかりません。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	18	2		いつも丁寧なみて頂きありがとうございます。連絡帳や帰りの申し送り様子を教えていただき助かっています。今後も宜しく願ひ致します。土曜、祝日、あと1時間でいいのでみていただけると助かります。

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 1月 15日

事業所名 ゆめの園みらいず本郷児童発達支援・放課後等デイサービス

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	②	職員の配置数は適切であるか	○			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮がなされているか	○		段差がほぼない、トイレが広い。	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等により、アンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		第三者における評価が行える様、検討していきます。
適切な支援の提供	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	⑰	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	⑲	ガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	○				
㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○				

関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		医療的ケア児の受け入れを行っておりません。	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		今後、対象利用者がいらっしゃる場合に情報提供が出来るよう対応致します。	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		今後、対象利用者がいらっしゃる場合に情報提供が出来るよう対応致します。	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		専門機関が行っている研修に積極的に参加していきます。	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	他事業所と合同のイベントを行った。	コロナの様子を見ながら社会資源を活用していきます。	
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○			
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○			
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか		○			
	保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		○		
		㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○		
㉜		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	運動会を保護者参加型で開催した。	コロナの状況を考慮して家族参加型のイベントを増やしていきます。	
㉝		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○			
㉞		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○	Twitterや連絡帳で写真等を使い発信している。		
㉟		個人情報に十分注意しているか		○			
㊱		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		○			
㊲		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○			
非常時等の対応	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか		○		今後、面談の際に各マニュアルについて保護者様に周知を行えるようにしていきます。	
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○	年2回の避難訓練を行っている。		
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○	定められた回数の研修を行っている。		
	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○	身体拘束の研修を行ったり、マニュアルを作成している。		
	㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		アレルギーをお持ちの方が利用される際には注意して対応する。	
	㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○			

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

部署名：みらいず本郷	
管理者：松前 児童発達支援管理責任者：萩原 保育士：中井 指導員：内村、高山、片桐	
課題及び改善点	改善内容及び工夫
②職員の配置数や専門性は適切であるか ⑩父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	②外部研修などに参加し、それを事業所内で共有して専門性の向上に努めます。 ⑩コロナ禍の為、感染状況に応じて対応をしていきます。ご家族参加型の活動を取り入れていきます。

<p>⑩子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか</p> <p>⑮児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか</p> <p>⑯放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか</p>	<p>⑩アセスメントシート等、統一した書式を作成中、使用して今後も改変を行っていく。</p> <p>⑮積極的に研修を受けていく。</p> <p>⑯コロナの状況を見て社会資源の活用をしていく。</p>
---	---